

館 報

おみ

1月号
No.682

2024.1.25（令和6年）編集と発行／長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲気分はスノーボーダー～保育園そり遊び～（1月17日撮影）関連記事は3面

地震に対する
日頃の備え

一月一日午後四時十分頃
石川県能登地方を震源とする
最大震度七の地震が発生
しました。一月二十三日時
点で二三人の方が亡くな
られました。

年末年始の休暇等で実家
に帰省し被害に遭われた方
も多く、新しい年が明けた
早々にこのような災害が発
生したことに驚きが隠せま
せん。

麻績村内でも震度四を観
測し、大きい揺れに恐怖を
感じた方も多かったのでは
ないでしょうか。

災害は忘れたころにやっ
てくると言われています。
私たちにできることは、普
段から備えをしつかりし、
慌てずに対処することだと思
います。

下図は東京消防庁より出
されている地震に対する十
の備えです。大切なことは、
できることをできる範囲で
実施することです。基本的
なことですが、再度確認し
ましょう。

地震
に対する
10の備え

身の安全の備え

家具類の転倒・落下・移動
防止対策をしておこう

- ・けがをしたり、避難に支障がないように家具を配置しておく。
- ・家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。

けがの防止対策
をしておこう

- ・食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。
- ・停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく。
- ・散乱物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。

家屋や塀の強度を
確認しておこう

- ・家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ・ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないように補強しておく。



初動対応の備え

消火の備えを
しておこう

火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置き（溺れ防止のため子どもだけで浴室に入れないようにする）をしておく。

火災発生時の早期発見と
防止対策をしておこう

- ・火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- ・普段使用しない電気器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておく。
- ・電気に起因する火災の発生を抑制するため、感震ブレーカー（分電盤型）などの防災機器を設置しておく。

非常用品を
備えておこう

- ・非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- ・冬の寒さなど、季節を考慮した用品を備えておく。
- ・車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。
- ・スマートフォンの予備バッテリー（PSEマーク付）など、必要な電源を確保しておく。



確かな行動の備え

家族で
話し合っておこう

- ・地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- ・外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- ・家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- ・台風等の風水害が同時期に発生した場合を想定しておく。
- ・普段のつき合いを大切にすると、隣近所との協力体制を話し合っておく。

地域の危険性を
把握しておこう

- ・自治体の防災マップ等で、自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。
- ・自宅や学校、職場周辺を実際に歩き、災害時の危険箇所や役立つ施設を把握し、自分用の防災マップを作っておく。

防災知識を
身につけておこう

- ・新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- ・消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。
- ・大きな地震の後に同程度の地震が発生する可能性があることを理解しておく。

防災行動力を
高めておこう

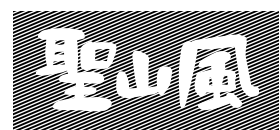
日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身に付けておく。



▲「地震に対する10の備え」東京消防庁ホームページより引用

https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/bou_topic/jisin/sonae10.htm

上記 URL か右の QRコードからご覧いただけます。



新型コロナ
ウィルス感染
症が二類から
五類となり初
めてのお正月
久しぶりに家
族が揃い一家
団欒の時を過
ごされたご家庭も多かった
のではないかと。
そんな中、元旦には能登
半島を震度七の地震が襲い
多くの尊い命が失われてい
る。ご冥福をお祈りすると
共に、被災された皆様のお
見舞いと一日も早い復旧、
復興を願う。

幸いにして麻績村は比較
的大きな災害に出会うこと
は無く過ぎていくがいつ
大きな災害が起こるかわか
らない。準備や備えを忘れ
ないよう日頃の心構えや訓
練を大事にしたいと思う。

辰年のキーワードは「変
革、転機」や「激動」だと
の事、時代が動く年、大き
な出来事が起こると予想さ
れ、これまでの努力が実つ
てそれぞれの夢がかないや
すい年になることを願う。

（公民館長）

冬の麻績保育園



保育園どんと焼き

麻績保育園で一月十日にどんと焼きが行われました。

当日は、好天に恵まれ、青空の下みんなで元気よくやぐらを作りました。

火をつけると勢いよく燃える炎と、時折竹の破裂する「パーン」という大きな音に子どもたちはびっくりしていました。

最後に、お餅をみんなで



▲勢いよく燃えるやぐら

おいしくいただきました。今年一年、風邪や感染症に負けず元気に過ごせましたように、「そんな思いを胸に、元気に駆け回る園児の姿に成長を感じました。」

保育園そり遊び

麻績保育園は一月十七日にそり遊びを聖高原スキー場で行いました。雪不足であった今年の冬でしたが、園児のみんなの願いが通じ



▲二人なら怖くない！

たのか、前日にまとまった雪が降り当日は晴れて絶好の天気となりました。三、四歳児がスキー場Cコース、五歳児がそりコースに別れて楽しく遊びました。

そりコースでは、五歳児のみんなが、急斜面でのスピードを楽しみ、一時間程度遊んだらみんななくたくなっていました。その後、聖食堂で水分補給するとまた元気が復活して急な坂を何度ものぼりたつぷり二時間楽しめました。

最初は一人ずつそりに乗っていましたが、次第にお



▲スノーボーダー現る

友達同士でそりを連結して楽しむ子どももいました。いつもはお昼寝をしない年長さんもさすがに疲れたのか、バスの中では終始無言となり、うとうとする子が何人もいました。

保育園に戻ってきてからは遊戯室でお家から持ってきたお弁当をおいしそうに食べ、満足した様子を見せました。

また、二歳児は、「けやき公園」でそり遊びを楽しみ、一歳児は園庭で雪遊びを楽しみました。頬を赤らめ、楽しそうな笑顔が印象に残りました。



▲疲れたけど楽しかったね

餅つき誕生会

一月二十四日、麻績保育園で餅つき誕生会が行われました。

毎年恒例となっている餅つき誕生会は今園児で実施。遊戯室で杵（きね）と臼を使って、組ごとに分かれ、一人ずつ大きな杵を持って、順番に一人ずつ餅つきをしました。

「よいしょー」の掛け声でみんな重い杵を一生懸命振っていました。

できたお餅は、柳の木に稲花（いなばな）として飾りました。麻績村の伝統食について理解を深める貴重な体験となりました。



▲重たいけど一人でできるよ

ニュースポーツ 「カローリング」体験 ～第九回麻績学級～

一月二十五日、第九回麻績学級を実施しました。

今回は、ニュースポーツカローリングを楽しみました。

「カローリング」は、氷上のスポーツ「カーリング」からヒントを得て平成五年に誕生したインドアスポーツ（室内競技）です。

三対三で「ジェットローラ」と呼ばれるストーンにローラーがついた物を交互に投げ、九メートル先のポイントゾーンの点数を競う競技です。



▲真剣な表情で練習



▲微妙な力加減が必要です

年齢・性別・体力に関係なく気軽に競技できるのが魅力です。

参加した皆さんは、公民館職員よりルール説明を受けた後、早速ジェットローラを投げる練習をしました。思うようにいかず、真つすぐ投げるのに苦労していました。いざ試合が始まると、なかなかポイントゾーンへ届かないなど最初のうちは難しそうでしたが、回数を重ねるうちに上達していきうにプレイしている姿が印象的でした。

来年度も誰でも気軽にできるニュースポーツを積極的に取り入れていきます。

公民館古典講座

「源氏物語」の時代を生きる

―紫式部と藤原道長―

公民館では、NHK大河ドラマで現在放送中の紫式部や藤原道長に関する古典作品や、その背景にあるお話などを聞かせていただく古典講座を次の日程で開催します。

多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

●日時

三月二日（土）

午前十時～正午

●場所

麻績村地域交流センター

三階ホール

●入場料

無料

●講師

信州大学 教育学部

教育学系

教授 西 一夫先生

●申込方法

二月二十九日（木）までに、麻績村公民館（六七―二二四〇）へお申し込み下さい。

麻績かるたより

「麻績村トリビア」

① 一番の

信濃札所や

法善寺



寺社仏閣などの霊場をめぐめることを巡礼、参拝しお札を納めたり受け取る所を札所（ふだしょ）と言うそうです。長野県には「信濃三十三番札所」という観音巡礼コースがあります。その一番札所が上町の法善寺。と言っても番号順に回らなければいけないわけでは無いようですが、二番札所は同じく上町、信濃観月苑裏山の宗善寺。三番は筑北村坂井の岩井堂、十五番が筑北村坂北の岩殿寺、十七番

② 馬の宿

壁に残せし
店の名を



市野川に「馬」の文字が壁に書かれた土蔵があります。かつて馬は重要な交通、運搬手段でした。宿場町には必ず「馬宿（うまやど）」があったようです。市野川の馬宿跡周辺には市野川神社一の鳥居、高札場跡、火の見やぐらがあり、かつてのにぎわいが思いえがれます。

筑北村東条関昌寺、二十番松本市会田長安寺と、近くに六カ所もあるのです。気軽に車でめぐってみましょうか？ 御朱印集めも楽しそうです。

元気通信!!

～今月の小・中学校～

麻績小学校

クラスで考え工夫する 二年生 生活方学習

二年生では、生活科の学習で春から育てていたポップコーンを自分たちの手で調理し、校内で販売しました。

ポップコーンの調理は思った以上に難しく、練習では焦がしてしまったり、味が濃かったりと課題がたくさんでしたが、子どもたち自身でどうしたらいいのかを考え、買う人に気持ちよく買っていただくけるように工夫することができました。ポップコーンを入れる袋には、喜んでもらうために折り紙でキララクターを作成し、



▲いらっしゃいませー



▲おいしくできました

飾り付けをしました。販売日には、呼びかけ係が作成した看板を持って学校中に呼びかけをし、レジ係はおつりの計算や販売数のチェックを行いました。事前のポスターでの呼びかけ効果もあり、ポップコーンはすぐに売り切れてしまいました。

販売終了後には、「イーイー!」とみんなで喜びました。売上金は、クラスのお楽しみ会でプレゼント交換を行うことになり、その費用にすることになりました。自分たちで考え、工夫していく子ども達。次はどんなことを計画するのか楽しみます。

筑北中学校

三学期に頑張っていきたいこと

一年 渡邊 花音

私が三学期に頑張りたい事は二つあります。一つ目は、テスト勉強です。今年は一、二学期に計画的にテスト勉強ができなかったのですが、三学期は工夫して勉強していきたいです。二つ目は、時間を見て行動することです。いつもぎりぎりになって、授業中に物を取りに行くことなどがたくさんあるので、時計を見て行動するくせをつけて、授業に遅れないようにしていきたいです。



▲一年の計は始業式にあり

あと三ヶ月で二年生になり、先輩になります。後輩に正しい中学生として中学校のことを教えていけるように、三学期の目標を達成できるように頑張っていきたいです。

三学期頑張りたいこと

二年 宮下 結雅

僕は三学期では生徒会と勉強に力を入れたいと思います。三学期は、分からない所を最上級生からしっかりと教わり、令和六年度生徒会の土台をしっかり作りたいです。二つ目の勉強は、今年から受験生となり、テストも多くなります。自分では継続していても、だん

だんパフォーマンスが落ちてしまい、勉強が身についていないことがあるので、スキマ時間にしっかりとやる、集中が切れたら休む、など工夫したいです。生徒会はやりがいを持って、勉強は切り替えながら、身につく勉強をしていきたいと思っています。

一年の仕上げ

三年 佐藤 時倅

私は三年生になってから自分のこれからの進路について考えることが多くなりました。

一、二学期では、自分の行きたい高校に向けて、勉強に努力してきました。そして三学期は受験です。家や学校など、どこでも時間を気にして、やることはやり、自分のやりたいことに時間も使えるよう有効的に使いたいと思います。最後の三学期は、自分の力で志望校に合格し、みんなで笑って卒業できるように私にできることを精一杯やりたいです。

相撲と麻績の事跡

(その三)

四本柱土俵について

「しほんばしらどひょう」という。相撲場で、東西南北の四隅に柱を立てた土俵のことである。柱には東が青・西が白・南が赤・北には黒の布をまいていた。

大相撲では、昭和二十七年（一九五二）年の秋場所から、四本柱を廃止して、神明造りの吊り屋根とし、四隅に青・赤・白・黒の房を下げて伝統を残置している。

この四色は、中国古来の哲理、万物の生成を説く五行思想や天の四方をつかさどり、東西南北の四方を固める、青竜（せいりょう）・東方）・白虎（びやつこ・西方）・朱雀（しゅじやく・南方）・玄武（げんぶ・北方）の四神説に由来する。この四神は、相撲の始祖神建御名方命（たけみなかたのみこと）を祀る諏訪大社の十余説あるという御神柱の由来の一つでもある。

七世紀末頃の貴人の墓と推定されている高松塚古墳の壁画にも四神が描かれている。

地鎮祭（とこしずめのまつり・じちんさい）では、四隅に斎竹（いみだけ※麻績村では冬青（そよご））を立てて注連縄を巡らすなど、四本柱と共通の思想である。

「四本柱土俵證状之事」

これは、上井堀区に所蔵されている古文書の標題である。

江戸末期の安政五（一八五八）年、本朝相撲司御行司廿二代吉田豊後守追風、敷二位左中将殿家木村若狭守正規、日本角力行司目附十三代木村庄之助正輝（落款）の連名で発給されている。

宛名は、「信州筑摩郡上井堀当日世話人中」とあるが、「免状白井九右清門取次当日世話人中」との添え書きもある。

本文は、「一、其御村方御鎮守太神宮神社御祭禮之

節四本柱土俵之式此度相收取立置候処實正也神事之砌其筋江相違未々迄永々違変無之様幾久敷可被相用候猶亦外同職之者罷越候共右四本柱土俵江而取揃致間敷事為念免状仍而如件」と記されている。

田舎の神社で江戸相撲と同じ四本柱の免許土俵を築き奉納相撲が挙行されていたのである。麻績の相撲史に残る貴重な史料である。

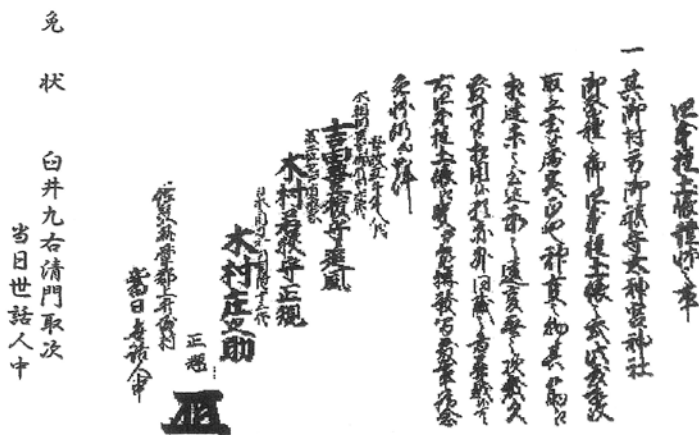
土俵の神々

土俵の東西南北は、四本柱土俵の項で記したように四神で守られている。吊り屋根は伊勢神宮と同じ神明造りだという。そして、四色の厄除けの房を下げる。神饌三品は、水・塩・洗米である。

力士は、仕切りの前に清めの水を使う。力水、化粧水ともいう。これは、社寺で参拝の前に行う手水に似る。相州（相模・神奈川県）大山の石尊権現は慈雨の神といわれている。相撲道の上では「力水の神」と解

釈されている。上田市長瀬にあった雷電入門の浦風部屋道場のあった所が「石尊の辻」という。

力士が土俵に上がり、取り組む前



▲上井堀区所蔵の「四本柱土俵證状之事」の写し

土俵は場所ごとに築き直され、神を迎え大相撲の無事を祈る儀式「土俵祭」が行われる。この祝詞奏上で相撲の守護神として、戸隠神社奥社に祀る天手力雄命（あまのたぢからのおみこと）を迎える。

令和五年大相撲秋場所の「土俵祭」は九月九日に行われ、約四〇〇名が来場した。秋巡業大相撲松本場所では十月六日四〇名が祈りを捧げた。このように神聖な土俵で大相撲は挙行されているのである。

次号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸



▲隣の人のぬくもりを感じながら、ゆっくりと体を動かします

「冬のお話会
〜心をつなぐ音楽と
遊び歌〜」開催

ライアー指導者の下形和美さんを講師にお迎えして、癒しの音楽体験と演奏を楽しみました。

ライアーは、一九二六年にドイツで生まれた堅琴に似た優しい音色の楽器です。始めに「音のあいさつ」。全員がハンドベルなどの楽器を手にもって、それぞれの音色に耳を澄ませながら自由に音を出し、会場がやさしい音に包まれました。



▲「ペチカ」「きよこの夜」で静かに幕を閉じました

他者の音を聞くことに意識を集中し、自らが紡ぎたい音楽を想像しながら音を出す体験は、とても新鮮で心が洗われるようです。

遊び歌では、手をつないで円をつくり、スローテンポながらも体を動かして、少し汗ばむほどでした。

また、教えていただいたたくさんさんの歌は、ぜひ子どもたちといっしょに歌ってみたくなるような楽しいものばかりでした。

最後に、ライナーの奏でるクリスマスにちなんだ曲でお開きとなりました。



ライナーは療育にも活用されている楽器だそうです。参加されたみなさんは、穏やかな表情で会場を後にされていました。

筑中図書館 応援してます！

近年、学校図書館の機能をさらに向上させる目的で、公立図書館の職員を小・中学校などに派遣して、学校との相互貸借・図書整理及び選書の相談にのるとともに、お話会開催や読み語りのアドバイスなどを行う図書館が増えていきます。

おみ図書館では、開館当初から小学校とは連携していましたが、中学校とは読み語りの訪問のみでした。昨年度の図書システム更新により中学校とリモート作



▲学習センター入口の「新着コーナー」



▲修学旅行に向けて、新しい資料も追加しました

業が可能になったのを機に、職員が定期的に出張してお手伝いしています。

今年度は、蔵書構成のチェックや新着コーナーの充実、郷土資料・修学旅行学習資料の更新や配架の見直しを、担当の先生と相談しながら進めています。

麻績小学校図書館だより

お正月明け、図書館の間に一・二年生は野草かるた、三・四年生は麻績かるた（平成二十八年度に四年生が制作）、五・六年生は百人一首に挑戦しました。コロナの影響で、ここ数年はあまり経験のなかった児童がほとんどでしたが、慣れないながらもこちらで読み札を読み始めると、真



▲ハイ！ あれ、どっちが先かな？

剣な眼差しで取り札を探す姿が見られました。

グループによっては、すばやく見つける子がいて「なかなか取れない」となげく子もいました。しかし、出てきた野草や名所・旧跡名句の一つでもたくさん覚えようと、最後まであきらめずに頑張っていました。

後日、児童会主催なかよしグループで、かるた大会も計画されています。異年齢の仲間と共に楽しめそうです。

みんなで そだてる 1月のおみ図書館

12月貸し出し数

貸出冊数一般	793冊
貸出冊数児童	1227冊
来館者数一般	421人
来館者数児童	988人



麻績消防署からの お知らせ

春の火災予防運動

令和六年三月一日（金）から三月七日（木）までの七日間、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。これからの時季は、空気が乾燥するなどの気象条件から、火災発生の危険性が高くなります。火災を発生させないために、次のことに注意しましょう。

住宅火災いのちを守る 七つのポイント

【三つの習慣】

- 一、寝たばこは、絶対やめる。
- 二、ストーブは、燃えやす

いものから離れた位置で使用する。

- 三、ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を止める。

【四つの対策】

- 一、逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。また、電池切れや本体故障により適切に作動しないケースが懸念されるため、定期的な点検や機器の本体交換等（設置から一〇年が目安）、維持管理に気を配る。

- 二、寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防火物品・製品を使用する。

- 三、火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。

- 四、お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

2023年度

全国統一防火標語

火を消して
不安を消して
つなぐ未来

全国山火事予防運動

春の火災予防運動と同じ期間に、全国山火事予防運動も実施されます。

山では枯れ葉や枯れ草が多くなることから、山火事発生の危険性が高くなります。山火事は一旦発生すると、その消火は容易ではなく貴重な森林を焼失するとともに、その回復には長い年月と労力を要することになります。

また、たき火による火災は、一人ひとりの火の取扱いに對する「ちよつとした不注意」が原因となっています。これからのたき火を行う機会が多くなる時季を迎えるにあたり、たき火を行う際には、次の点に十分注意してください。

- 一、枯れ草等のある火災の起こりやすい場所では、たき火をしない。
- 二、喫煙は、指定された場所で行い、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てはしない。
- 三、バーベキューなど火を

使用するときには、指定された場所で行い、そこを離れる場合には、完全に火を消す。

- 四、強風注意報や乾燥注意報などが発表されている場合は、火気の使用を控える。

- 五、火遊びはしない。

- 六、火気を使用する場合に、周囲の可燃物の状況に十分に注意するとともに、消火用の水を必ず準備する。

- 七、子供だけで絶対にたき火をさせない。

- 八、火の粉が飛ばないように少しずつ燃やし、着衣着火による「やけど等」に注意する。

- 九、たき火が終わった後は、周囲に飛び火していないか確認する。

令和六年 山火事予防の標語

忘れない
山の恵みと
火の始末

編集後記

今年の干支は辰年。十二支の中で唯一、空想の生き物である龍は、天に昇る様子から、中国では古来より成功や発展の象徴として、縁起がよいとされています。日本でも龍神様が祀られているなど、龍にまつわる神社が多く存在します。

また、辰年は政治の大きな変化が起きることが多い年と言われています。色々な意味で良い変化が起きることを切に願います。



▲放課後子ども教室（1月17日撮影）



ご冥福を祈る